

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表: R4 年 2 月 22 日

事業所名: こどもプラス谷山南教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○			職員1名での送迎は不安だという意見があった。可能な限り2名体制で組むようにする。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		適切でない所には安全策を講じている	運動の活動内容によっては職員の配置箇所を入念に打ち合わせをしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		活動に応じて空間をわけている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		毎日ミーティングと振り返りを欠かさず行っている。	非常勤の職員も振り返りに参画できるよう工夫する。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか				今年度初回なので今後つなげていく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか				今年度分をホームページで公開する。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか				グループ会社指導員の巡回があり研修や指導アドバイスがある。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		コロナ禍でオンラインでの参加となった	運動保育士の資格認定受講内部研修を充実させる
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			田中ビネー知能検査などのツールを今後の個別支援計画にいかしていく。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			今後は家族支援や地域支援にも注力する。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			小集団での療育になるため一人ひとりの課題に沿った支援ができるよう入念に打ち合わせを行う。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		ミーティングをしっかりと行い活動内容を検討している	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		運動遊びの活動は固定化しないようローテーションで計画を立てている	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		集団で行う運動遊びと個別活動を組み合わせで支援できるよう計画を作成している。	個別課題の活動では一人ひとりの課題に合った支援ができるよう打ち合わせ等丁寧に行う
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		活動ごとに担当を決めている	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			非常勤の職員も振り返りに参画できるよう工夫する。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			コロナ禍で電話でのモニタリングが多かった	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		○		今後やっていきたい
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		通所開始前に園での様子や支援内容等の情報共有を図っている	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			児童発達支援事業所の公開療育に参加した。コロナ禍でオンラインでの実施だったが、療育の情報共有ができたアドバイスをもらえたりした。今後は研修の参加も検討する
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		活動としての交流はないが、公園遊び等で一般の利用の子どもたちと関わる機会がある。今後はどのような活動ができるのか検討する。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳で活動やその日の様子を写真を用いて伝えている。送迎時にできるだけ詳しく様子を伝えるようにしている。	保育園への送迎で普段なかなかお会いできない保護者への対応をもう少しこまめに行うよう今後検討する。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		今後計画していきたい。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		コロナ禍で実施できなかったが今後計画していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ホームページで活動概要などを発信しているが、ブログ等での発信を増やしたい。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		今後検討する。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			今年度はコロナ禍で消防署の協力は得られなかったが、次年度は協力を得て実施したい。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			利用前に保護者より詳しく聞き取りを実施しているが、予防接種に関しての聞き取りも今後実施していく。全職員が把握できるようしっかりと打ち合わせを行う。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか				食物(おやつ)の提供は実施していない
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		社内研修を実施。マニュアルを作成し虐待防止に関するポスターを掲示する等の啓発活動をしている。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			身体拘束に関するマニュアルを作成し共通理解をしているが現在は該当するような児童はいない。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)